

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4年前期	4	2	必修
担当教員			
建築学科全教員			
添付ファイル			
講義概要	・建築やその集合体である都市が抱える社会的／技術的な課題を総合的に把握・解析する能力、他者と幅広く議論を交わしながら意思決定する能力、建築図書の読解や説明する能力を養い、実社会に出ても通用する実力を身につけることを目標とする。 ・自らが研究テーマを設定し、その遂行を通じて、建築・都市に関する新たな知見を習得し、建築・都市の質的な向上を図れるようにする。 ・研究内容や研究方法については、指導教員の指導のもと、各自が資料の収集、調査、実験、解析を行う。		
授業計画	各研究室の指導教員がそれぞれの方法で実施する。		
授業形態	・日常的には、個別またはグループによるゼミを通じて、調査等の報告を行い、その結果をもとに助言・指導を行う。 ・アクティブラーニング：④⑤⑥に該当		
達成目標	a. 研究や演習の内容を理解し、プレゼンテーションできる。 b. 他者の発表に対して質問するなどグループ内で研究や演習の内容を討論できる。		
評価方法・フィードバック	・梗概および論文（本論）のテーマ設定、研究結果、考察等の内容70%、プレゼンテーションにおける発表および質疑応答20%、取組む姿勢10%の割合で総合評価する。 ・原則として、課題等のフィードバックは次回以降の授業内やWEB等を通じて行うが、具体的な方法・タイミングなどは指導教員より都度伝える。		
評価基準	・評価シートを元にしたすべての教員による評価を反映して、「合格」または「不合格」として、総合点が100点満点で60点以上の者に単位を与える。		
教科書・参考書	・各自のテーマに従った既往研究および参考文献、または適宜、指導教員が配布する資料を参照する。		
履修条件	・特にないが、指導教員の専門分野の講義を履修していることが望ましい。		
履修上の注意	・各研究室の指導教員の指示による。		
準備学習と課題の内容	・テーマに従って既往研究、参考文献を読み進めること。 ・毎回の予習復習時間は平均1.5時間程度であるが、開講スケジュールなどによって異なることから、必要に応じて指導教員より都度伝える。		
ディプロマポリシーとの関連割合（必須）	知識・理解:30%, 思考・判断:30%, 関心・意欲:10%, 態度:10%, 技能・表現:20%		
DP1 知識・理解			
DP2 思考判断			
DP3 関心意欲			
DP4 態度			
DP5 技能・表現			